

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設(消防に関する施設:指揮広報車購入)整備事業						
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀						
実施場所	青森県三沢市大字三沢字堀口17番地36号(三沢市消防本部)						
補助事業の成果の目標	<p>指揮広報車は、大規模災害発生時に本部指揮隊で運用し、災害現場での指揮活動を行うための車両である。また、平常時は市民への広報活動や事務連絡等多岐にわたる業務で使用する車両である。</p> <p>現車両については、平成16年度に整備した車両であり、整備後19年が経過し走行距離も19万kmを超えたことで、エンジン系及び電気系の故障が多く発生してきているため、緊急走行時における安全性の低下が問題とされており、更新整備が急務であった。</p> <p>以上のことから、本車両の更新を行うことで、隊員の安全を確保し消防活動に専念できる環境を整えるものである。</p>						
補助事業の内容	指揮広報車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		6年度					計
	事業費	円 5,335,000					円 5,335,000
	交付金額	4,800,000					4,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果】 指揮広報車を更新したことにより、エンジン系や電気系に係る故障リスクが低減し、緊急走行時における安全性が確保された。また、災害出場時には、災害状況の把握、隊員の安全確保、各関係機関との連絡調整、活動隊への指揮等の指揮活動能力の向上が図られた。 また、平常時の事務連絡、火災予防広報等でも幅広く使用し有効的に運用している。</p> <p>運用件数:256件、走行距離: 5,109km(令和8年1月31日現在)、故障箇所:なし</p> <p>【評価】 指揮広報車更新前は、エンジン系や電気系に係る故障等が発生していたことで、緊急走行時における安全性が問題視されていたが、更新後は、日常点検や災害出場でも故障の発生が見られなくなり、災害出場体制が万全となった。以上のことから、市民の生命を災害から保護するとともに被害を軽減させ、地域住民の生活環境の向上を図ることが出来たと評価する。</p> <p>【周知実績】 購入した車両後部には、防衛省所管補助事業である旨をエンブレムにより表示し、また、市の広報誌及び市のホームページ内に交付金事業により車両を購入した旨を掲載することによって周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	車両の点検整備を定期的に行い、災害時には最大限に活用できるようにする。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						